

製品名: リン酸化 c-Jun (Ser63) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01556**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	JUN
別名	Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39
遺伝子 ID	3725
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

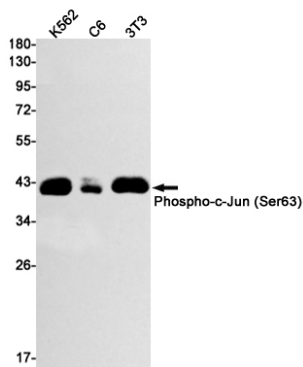
背景

c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

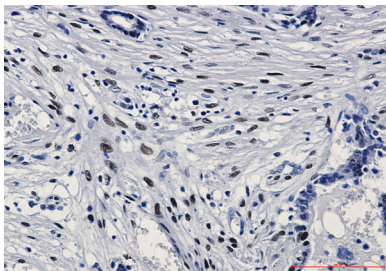
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Phospho-c-Jun (Ser63) 抗体を使用した K562、C6、3T3 溶解物中の Phospho-c-Jun (Ser63) のウエスタン プロット分析。



c-Jun (リン酸化 S63) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。